

野村いくよ 市政報告だより

No.35
2024. 8. 3



一般質問（6月25日）

すべては子どもたちの今・未来のために…

「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」
だれ一人取り残されない社会を築いていくためにも、多くの人のつながりを求めて進んでいきます。
これからも市議会議員としての責務を果たすべく尽力してまいります。ご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。
かならず政治を変えることができます。

気候変動の影響で、大雨や猛暑が続く日々となっています。元日に発生した能登半島地震から7か月が過ぎましたが、なかなか復興は進んでいません。1日でも早く、安心な日常生活にもどれることを願っています。
ロシアのウクライナに対する軍事侵攻の長期化、イスラエル軍のガザ地区への攻撃等、いまだに子どもたちをはじめ多くの命が奪われています。
岸田政権は、3月閣議決定で国会の審議も経ず、殺傷能力のある武器輸出を解禁し、沖縄南西諸島に「台湾有事」を理由に自衛隊基地の新設やミサイル部隊の配備、鹿児島県の奄美大島でも自衛隊の配備強化を進めています。また、米兵によるあいつぐ性的暴行事件について政府などが県に情報を伝えていなかったことが明らかになりました。昨年末からの自民党議員による裏金問題で、自浄能力がない岸田政権は、支持率を大きく低下させています。
東京都知事選では、「改革」とは何なのかを考えさせられました。
今、平和と民主主義が危機的状況にあります。
NHKの連続テレビ小説「虎に翼」を自分の経験や思いと重ねながら見入っています。そして、日本国憲法「第13条の幸福追求権」「第14条の法の下にすべての人は平等」のすばらしさをあらためて確認しています。
また、昨年4月に施行された子ども基本法でも、「差別の禁止」「生命、生存及び発達に対する権利」「児童の意見の尊重」「児童の最善の利益」が謳われています。
私は、このような厳しい状況にあっても決して平和と民主主義をあきらめず、よりよい未来をめざして多くの仲間と歩んでいく決意です。

「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」

「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」

「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」



百済寺跡地掘完成記念（4月8日）



煙突山桜まつり（4月6日）



ピースウォーク（3月2日）

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU
2024 夏号
号外
立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル7F
電話03-3595-9988
https://cdp-japan.jp/

野村いくよの 活動日誌 (抜粋)

おもな活動を記載しています / Facebookもやっています

野村いくよ公式ホームページ URL:nomura-ikuyo.com/

3月

- 2(土) 第5回ピースウォークいくよ！ テーマは「宇治火薬庫・火薬製造所の遺構をめぐる」4年ぶりに実施しました。参加いただいたみなさんありがとうございました。枚方市平和の燈灯（あかり）点灯式 ニッパパーク岡東中央例年通り孫と参加、今年は母も。
- 3(日) 防災フェスティバル 五常校区コミュニティ協議会 初期消火やAEDの使い方など日頃の訓練がいざというときに活かされるように。
- 17(日) 障害のある子どもの人権 枚方市平和の燈火（3月2日）（発達）を考える 講演「親になるまでの時間（こどもは今の力で今を生きる）」講師 浜田寿美男さん 講演のタイトル通りのお話で、今の力で今を生きる、ありのままを受け入れ豊かに生きるっていいな、とつくづく思いました。
- 18(月) 五常小学校卒業式 孫の卒業式に来賓として参列「呼びかけ」が復活、子どもたち自身で作ったそうととても楽しかったです。
- 20(水・祝) 第96回選抜高校野球大会に北海道別海町の別海高校が初出場！ 議会で応援に行きました。
- 23(土) 9条連・近畿学習会「『台湾有事』は本当にあるのか つくられた『危機』を現実にはならない」講師山本恒人さん（大阪経済大学名誉教授）
- 30(土) 「止めよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和 2024 春関西のつどい」「ガザとアフガニスタンで起きていること、起こったこと」清水愛沙さんのお話は心に響きました。



4月

- 5(金) 第4中学校入学式 孫の入学式でもあります。孫も制服ズボンを選択していましたが、同じような新入生多かったです。
- 6(土) 煙突山桜まつり 五常校区コミュニティ協議会主催 立憲民主党大阪府総支部連合会第4回定期大会
- 8(月) 百済寺跡地掘完成記念式典
- 13(土) 新この町のかたち研究会 第1回学習会「コロナで変わった日本～大阪の未来像は？」講師 畑山博史（時事ジャーナリスト）
- 19(金) 市議会議員研修会 講師 土山希美枝さん（龍谷大学政策学部教授） 質問力を高める内容の研修で楽しく参加しました。
- 23(火) おおさかヒューマンライツ自治体議員の会学習会 ①講演「多文化共生のまちづくり～いくのパークのとりにくみについて～」宋 悟さん②いくのパーク、コリアンタウン視察・フィールドワーク
- 25(木) 第27回枚方退職女性教職員の会・しおん会総会
- 27(土) 北河内地区教組2024年度総会・学習会 「職場活性化のコミュニケーション術」講師 山本章弘さん

5月

- 1(水) 大阪地方メーデー 大阪城公園太陽の広場 立憲民主党大阪府連幹事長として出席。雨の中の集会ですが、それぞれ多くの組合

員が集まっておられました。

- 2(木) 孤独・孤立対策推進本部研修会「孤独・孤立対策について望まぬ孤独について自治体ができること」講師 大空幸星さん（特定非営利活動法人 あなたのいばしょ理事長）
- 3(金・祝) おおさか総がかり行動5.3輝け憲法 扇町公園
- 10(金) 全国退職女性教職員の会全国大会in大阪 記念講演「おばちゃん目線でみた社会の問題」講師 谷口真由美さん 久しぶりに痛烈な批判も含めたお話、爽快でした。
- 17(金)～21(火) 開会議会 役職や所属委員会等が決定しました。私は、引き続き連合市民の会代表、議会運営委員会、教育子育て常任委員会に所属、枚方京田辺環境施設組合議会に派遣、議長に選出されました。
- 22(水) 2024年度第1回支援教育充実審議会の傍聴 すべてオンライン会議でした。リアルでないと思える意見交換ができていないように感じたのは私だけでしょうか。
- 25(土) 立憲民主党大阪府連第2回NPO意見交換会「NPO法と行政の関係性と地域自治のしくみ」講師 田中逸郎さん（NPO政策研究所理事、コミュニティ政策学会理事、元豊中副市長） 興味深い内容で、地域自治を条例制定で積み上げてきたことで、誰が市長になってもその構造は変わらない、に納得です。
- 26(日) 枚方市退職教職員の会（かさざき会）2024年度総会

6月

- 1(土) しおん会・かさざき会共催 憲法カフェ「ガザ、ウクライナ、そして大阪 戦場から見る日本国憲法」講師 西谷文和さん 多くの取材写真や動画をみながらお話を聴きました。「戦争を始めるのは簡単だが、終わらせるのはとても難しい」その通りです。だから戦争に至らないように努力すべきです。フェイクに騙されない冷静さが必要、メディアリテラシーですね。
- 3(月) 教育子育て委員協議会
- 9(日) 「止めよう！原発依存社会への暴走 動かすな！老朽原発」うつほ公園 終了後は、難波までのパレード
- 10(月) 市駅周辺再整備③街区見学会
- 15(土) 立憲民主党泉健太代表を迎えての街頭演説会 初の大阪駅前での泉代表の街頭演説会 野党第1党代表ということで警護が大変でした。温かい反応でした。
- 23(日) 新この町のかたち研究会 第2回学習会「激変する情報環境とチャットGPT～IT革命の進化をふまえて～」講師 北口末広さん（近畿大学人権問題所）
- 28(金) 枚方市議会スポーツ連連総会
- 30(日) 大阪教組教研全体会「歴史、時代、そして私たち」講師 ヤン ヨンヒさん（映画監督） 話される内容の視点に気づかせられることが多かったです。



うつほ公園での集会（6月9日）

7月

- 2(火) 第74回社会を明るくする運動 講演「チャレンジすること～障害のあるなし」講師 達 淳一さん 「障害」者だけの殺陣チーム「101（ワン・オー・ワン）」を日本初プロデュース。一生懸命殺陣を演じる姿に障害のあるなしは関係ないことを訴えられました。
- 4(木) デートDV予防教育見学 中宮中学校2年生 NPO法人SEANの出前授業です。
- 5(金) 枚方京田辺環境施設組合議会2024年第2回議会幹事会 枚方市東部清掃工場
- 7(日) 枝野幸男衆議院議員を迎えての街頭演説会 京橋駅 枝野議員のパワーあふれる演説に元気をもらいました。
- 26(金) 北河内平和人権センター主催 平和行進 市役所前→新香里

3月定例月議会（3月12日～25日）

初日に市長が市政運営方針を表明しました。

表明された内容で既に決定していること

- 小学校の給食費の無償化（今年度2学期から）
- 母子保健と児童福祉の機能を合わせ持つ、まるっとこどもセンターを開設（4月から）
- ラポールひらかたに、学習のサポートや食事を継続的に提供できる児童育成支援拠点を設置（今年度10月から）
- 学校体育館に空調設備今年度中に整備完了

- 他に以下のことも表明、注視していきたい内容です。
- 学校に不登校支援協力員の増員、「校内ルポ」を設置する小学校を拡充、公民連携による居場所づくりの推進
 - 留守家庭児童会室の長期休業期の昼食サービスや放課後オープンスクエアの実施時間の延長などに向けたとりくみをすすめる
 - 児童相談所の設置に向けてロードマップ等を作成
 - 子ども・子育て施策を一体的にとりくむよう、子ども・若者等に関する計画を内包する「(仮称)こども計画」を策定
 - 3月末に改定された教育大綱に掲げる教育理念の具体化を図るため、教育振興基本計画を改定する

教育大綱は市長が総合教育会議を経て制定するものです。気になる言葉があります。

「教育方針」の中に、「変化の激しい社会においても、力強く生き抜くために必要な、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成に取り組みます。」

市政委運営方針にも「予測困難な時代にあっても、子どもたちが夢と希望に満ちあふれ、さまざまな可能性に挑戦し、社会で力強く生き抜く力を身に付けられるよう、すべての子どもに個別最適で協働的な学びを実現します。」とあります。

「社会で力強く生き抜く力」とは具体的にはどんな力でしょうか。「困難を解決し乗り越える力」とも読み取れますが、今の競争主義の社会で生き抜くとは、「個人が他を押しつける」意味にも取れます。

また、「夢と希望に満ちあふれ、様々な可能性に挑戦し」ですが、学ぶことで可能性は広がるでしょう。しかし、夢と希望に満ち溢れることができるかどうかは、社会のあり方によると思います。

「安心して挑戦できる」という言葉を最近知りました。「挑戦が成功しなくても大丈夫!」ということ。勝ち組とそうでない人たちに分けられる社会ではない、公正な社会が求められます。「ともに学び ともに育ち ともに生きる」を教育理念にしたいです。

3月予算特別委員会

Q 教育の資質向上のための予算の中から、教職員研修講座

等開催事業について聞く

A 教員の支援教育に係る資質向上に繋がる研修を実施する予定

! 「障害の理解」だけでなく、障害のある子どもたちを含むすべての子どもたちが通常の学級で、わかりやすい授業、だれにでも出番のある授業を行っていくことが大切です。このような授業づくり、そして違いを認めあい支えあうことができるような集団づくり・学級・学校づくりができる研修の実施を要望

Q 児童育成支援拠点事業について、事業内容、目的等を確認

A 学校以外に継続的に通うことができる居場所を設置することで、教員とは違う立場の人が寄り添うとともに、食事提供や生活習慣等の形成も行うことで、安心して過ごすことができ、社会とのつながりを持つことができる場とする

! 10月からの開設、委託事業とも聞いている。どんな事業所が担っていくのか、20人規模というのがふさわしいのか、職員数は適正なのか、週3日を週5日への拡大とか、送迎はどうするのか、プライバシー等々課題は多いので、丁寧にすすめるよう要望

Q DV防止対策事業のうち、市内の小・中学生を対象にしたデートDV予防教育プログラムについて聞く

A 小学校9校分、中学校8校分の予算計上。実施小学校においては、教職員研修も実施。希望制、小学校は2014年度から延べ75校、中学校は2017年度から延べ58校で実施

! ジェンダー平等を学ぶ機会となる重要なとりくみだと考える。一度も実施していない学校もあるようなので、アピールと周知を要望

他に、学校への早期のエレベーター設置、年齢や障害の有無などを問わず、誰もが楽しく安心して利用できるインクルーシブ公園の整備など要望しました。

6月定例月議会（6月14日～28日）

1. 人権尊重のまちづくりについて

1) 男女共同参画のとりくみについて

Q 6月23日からの1週間を、国は男女共同参画週間と定めている。この間の枚方市としてのとりくみと、ジェンダーギャップ指数の今年の発表は146か国中118位と低迷。ジェンダー平等のとりくみを聞く

A この期間は、市庁舎に懸垂幕の掲示、啓発事業として講

演会、国のキャッチフレーズ「だれもがどれも選べる社会に」を広報ひらかたに掲載。固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発などのとりくみを進めている

2) 性的マイノリティの支援について

Q 6月はプライド月間、世界各地でLGBTQ+の権利を啓発する活動・イベントが行われているが、枚方市においては？

A この期間においては啓発活動の実施はしていないが、毎年性の多様性をテーマとした映画会などのイベントを実施。今後、効果的に周知、啓発を行うよう検討

! 枚方市でパートナーシップ宣誓制度を利用されているカップルは27組。長崎県大村市が5月2日に、男性の同性カップルの続柄覧に「夫（未届）」と記載した住民票を交付したことを受け、事実婚と同様の続柄の記載を用いる方針・検討を示されている自治体が現れてきている。「続柄は、自治体事務の中で記載できる」ということ。つまり首長の裁量によるものなので、市長の決断を求めた

3) 子どもの権利について

Q 昨年4月に、日本国憲法及び子どもの権利条約の精神に則ったこども基本法の施行を受け、子どもの意見、声を聴くことや参画することについてのとりくみを聞く

A 「(仮称)枚方市こども計画」の策定にあたり、こどもや若者、就学前児童や障害のあるこどもなどの意見を反映するため、意見聴取を行う予定。こども施策を担う多くの部署が円滑適切に意見聴取を実施できるよう、庁内統一的な仕組みについても検討を行っている

! 権利の主体が子どもである。「子どもの思いを聴く」は、「何かをするために」聴くのではなく、いつでもどこでも子どもに係わることについて、当たり前子どもの思いを知る、ということ。そこから子どもの最善の利益を追求していくことだと意見を述べた

2. 子どもの安全・安心について

1) 薬物乱用防止について

Q 6月26日は、国連の「国際麻薬乱用撲滅デー」。最近の大麻事犯の検挙者が覚せい剤事犯を上回り、低年齢化及び10代中心の市販薬過剰摂取（オーバードーズ）が問題となっている。保健所と学校現場のとりくみについて聞く

A 保健所では、薬物乱用防止の啓発リーフレットを作成。小学校6年生を対象として、市内の全小学校へ配布。薬物乱用防止教育については、各学校において学校保健

計画の中に位置付け、喫煙・飲酒の防止とともに、学校教育活動全体を通じて取り組むよう指示している

! 10代の大麻事犯の検挙数やオーバードーズの増加は、子どもたちの生きにくさが影響しているのではないかと考える。『ダメ、ゼッタイ』という言葉だけではなく、家族の在り方や、信頼関係のある友人や大人がいるのか、お互い支えあう集団作りができてきているのか、が重要だと考える。知識を得るために薬物乱用防止教室を確実に行っていくことと、違いを認め合い支えあう、人権が尊重される学校づくりに尽力することを要望

2) 児童相談所設置の進捗について

児童相談所の設置に向けたロードマップを作成する答弁を再度確認。北河内地域には、乳児院も児童養護施設もないのが現状。枚方市から乳児院及び児童養護施設に入所している子どもは2023年4月1日現在で74人。児童相談所設置については、慎重にすすめるべきであるが、児童養護施設については先行して誘致をすべきであることを意見として述べ、「検討する」という答弁

3) 生命（いのち）の安全教育について

Q 子どもが性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないよう、文科省は「生命の安全教育」を推進している。しかし、学習指導要領の中の「妊娠の経過は取り扱わない」という「はだめ規定」はそのままなので、包括的性教育について見解を聞く

A 包括的性教育は人権教育を基盤とし、「良好な状態」「心身ともに健康で、持続的に幸福な状態」という「ウェルビーイング」の実現などの観点が重要とされている。

そのために、人間関係、人権、ジェンダー、暴力と安全確保、性と生殖に関する健康などを含めた「包括的性教育」は必要

! 包括的性教育を必要というならば「はだめ規定」は必要ない。こどもの自己決定能力を育む包括的性教育を学校現場で進めていくことを要望

4) 大阪・関西万博への遠足招待について

府内の小・中学校に対する5月末メ切的「学校行事として大阪・関西万博への参加を問う意向調査」に対して、枚方市内の全小中学校は、「参加する30校」「未定・検討中33校」と回答した報告が市教委からあった。

「学校行事を含む教育課程の編成権は、学校・学校長にある」について改めて確認をし、教育委員会としては、「その決定を尊重するとともに、判断に必要な情報等について迅速に周知することに努める」との答弁。「教育課程の編成権は、学校・学校長にある」ことを今後も堅持するよう求めた